年間授業計画

葛西工科高等学校 令和6年度（３学年） 教科 工業（建築） 科目 ３年建築実習

教　科：　工業（建築）　　科　目：　３年建築実習　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　4 組～　5 組

教科担当者：（４、５組：内西克生、小松昌史、田口亮、松原昌忠、宮崎友宏、阿久津 真依、鈴木 朝美）

使用教科書：（実教出版「建築実習１」「建築実習２」）　使用教材　：（「新版建築実習１・２」, プリント他　）

教科　工業（建築）　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】建築の各分野に必要である知識・技能・技術・態度を習得する

【思考力、判断力、表現力等】QCDSを思考・判断し、課題・作品に取り組む

【学びに向かう力、人間性等】PDCAを粘り強く実践し、学習改善につなげる

科目　３年建築実習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1・2年次での実習を踏まえ、建築の各分野における発展的な知識、技能および技術、態度を実習を通して習得する。	発展的な知識・技能を活用して、安全に作業を行い、課題を完成させたり、作品を製作したりする。	学んだ内容を報告書にまとめるとともに、自己およびグループの学習を評価し、改善につなげられるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**導入** ①建築の各分野に関する発展的な知識・技術・態度を実習を通して技術・技能を習得する意義を理解させる。②事故防止に努め、安全に作業を行う態度を身につけさせる。③実習の結果を報告書としてまとめる手法を理解させる。	①「3年建築実習」を学ぶにあたって ②事故防止と安全作業の心がまえ ③実習報告書の作成方法の確認	【知識・技能】建築の各分野における発展的な知識・技術・態度を実習を通して習得する意義を理解する。行う作業の危険性を理解する。実習の結果を報告書としてまとめる手法を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】各実習の流れや意義等を理解しようとしている。	○		○	6
	木造 【知・技】木材の加工や接合方法について学習する。 【思、判、表】木材への理解を深め適切な加工方法を判断できる。 【学、人】学んだ内容を報告書に作成さることを身に着けさせる	①図面の読み込み ②道具の整備・使い方 ③木材の墨付け ④木材の刻み ⑤木材の接合・組立	【知・技】木材の加工・接合方法について学習する。 【思、判、表】木材への理解を深め、材料に応じた加工方法を学習する。 【学、人】木材に関する専門的な知識を実例に関連付けながら学習の取り組む。学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	18
	鉄骨 【知・技】鉄骨の組み立て順序や方法などについて習得する 【思、判、表】鉄骨工事の組み立て手順を立体的に学習する 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①図面の読み込み ②道具の整備・使い方 ③鉄骨の接合・組立 ④重機の操作	【知・技】正しく保護具を着用し、安全を確保しながら正しい手順で作業ができる 【思、判、表】鉄骨の組み立て手順を立体的に学習するとともに、解体方法についても学習する 【主体的に学習に取り組む態度】実践的な作業を通して、学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	18
	内装 【知・技】壁面の整備、壁紙の貼りつけを通じて、建築物の形態を考え製作できる。 【思、判、表】内装仕上げに必要な道具を適切に利用することができ、作品を完成させる。 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる。	①図面の読み込み ②道具の整備・使い方 ③壁面の整備 ④壁紙の貼り付け	【知・技】壁紙の施工を通じて、建築物の形態を考え、適切な施工方法を習得する。 【思、判、表】施工に必要な道具を適切に利用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	18
	設備 【知・技】屋内配線作業に関して電気的性質を踏まえた技能を習得する 【思、判、表】電気的性質の特徴を理解し、適切な施工方法を判断できるようにする 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①図面の読み込み ②道具の整備・使い方 ③屋内配線	【知・技】試料を正しく計測し、規則に沿った正しい試験方法で正確に実験を行う 【思、判、表】各材料の特徴を理解し、建築構造への利用の適否を判定できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	18
	環境 【知・技】計測機器の使用法およびデータのとり方を習得する。 【思、判、表】各種データを分析することができる。 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①資料の読み込み ②各種データの読み取り方 ③計測・実験 ④データの分析	【知・技】計測機器を正しく操作し、規則に沿った試験方法で正確に実験を行う。 【思、判、表】計測データを読み込みデータを分析する。 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	18
							合計 96